

十勝町村会 創立100周年宣言

十勝町村会は、北海道町村会と時を同じくして、1922年（大正11）4月、「町村長会」として発足し、戦後の48年（昭和23）6月、町村行政の総合的連携機関として「町村会」と改称した。

55年（昭和30）に西足寄町と足寄村が合併して足寄町となり、同年に大津村が豊頃村、浦幌町、大樹町、56年（昭和31）に御影村が清水町、57年（昭和32）に川西村、大正村が帯広市、2006年（平成18）に忠類村が幕別町に編入合併し、現在、16町2村に17万人が住んでいる。

100年の歩みを振り返る時、とりわけ21世紀の幕開けから現在に至る20年は、私たち町村にとって、国と地方の関係が上下・主従から対等・協力となった「地方分権」が推進される一方、「平成の合併」に象徴される、苦渋の選択と厳しい行財政運営が迫られた。

また、人口減少と少子高齢化が同時に進む中、将来にわたって「活力ある地域社会・日本社会」を維持するために、「地方創生」に本格的に取り組む使命が課せられた。

いつの時代にあっても、町村は、その時々直面する課題に立ち向かい、住民に最も身近な基礎自治体として、重要な役割を担い続けていかなければならない。赤ちゃんからお年寄りまで、皆が安心して暮らせるようにすることが、私たちが目指す持続可能な“まちづくり”である。

私たちは今、現在の世界が日本が初めて経験した新型コロナウイルス感染症のパンデミックに直面し、国・自治体、住民が一丸となって、この厳しい試練を乗り越えるために行動している。

地球温暖化は、未来世代にも大きな影響を及ぼすことから、今を生きる私たちが着手すべき最も重要な課題であり、十勝総合振興局管内においては、確実に脱炭素社会の実現に貢献できる「誰もがいますぐ取り組むことができる日常のゼロカーボン行動」をすでに開始している。

十勝町村会創立100周年にあたり、私たち町村長は、101年目のテーマを「動く“アクション”」と名付け、内外へ（から）の情報の発受信を積極的に行うとともに、人の絆、地域のつながりを大切にしながら、十勝18町村の多様な価値をさらに発展させ、活力に溢れ光り輝く次の時代を切り拓くため、全力で取り組んでいくことをここに誓う。

以上、宣言する。

令和4年3月28日

十勝町村会 通常総会

動く“アクション”～主な取組～

■ 「ゼロカーボン北海道」実現へ積極的取組

- ゼロカーボン（カーボンニュートラル）は大企業のトップダウンではなく、地域コミュニティからのボトムアップで行っていかないと成功しないと言われている。
- 十勝管内22団体・機関を発起人とする「ゼロカーボン行動 十勝宣言」の旗の下、それぞれのまちむらが、一人ひとりが、できることから行動に移していく。

■ 移住・定住の促進／関係人口の創出／観光・交流人口の拡大のための魅力発信 → 「十勝」「北海道十勝」の積極的発信

- 昨年指定のナショナルサイクルルート「トカプチ400」、本年予定の「日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定」、3年目の「北海道十勝地域×東京台東区・墨田区連携～関係人口創出プロジェクト～」などと連動して、十勝を発信していく。
- 管内外から十勝の各地に車で立ち寄る人々の「口コミに勝るものなし」の観点から、15カ所ある「十勝の道の駅」の魅力発信機能をさらに充実させていく。
(国道 12駅 / 道道 3駅)
- 国土交通省の「図柄入りご当地ナンバープレート」の募集が今後あった場合、「十勝（とかち）ナンバー」は、十勝発信の起爆剤になる可能性があることから積極的に応募を検討していく。(前回募集：H29年5月／導入地域：全国 46／北海道2（苫小牧／知床）／対象地域の全市区町村の合意を得た上で都道府県が申請)

■ 「ウイズ コロナ」に対応し、住民や地域の目線にたつ行政運営

- 令和4年度も「ウイズ コロナ」が続くことを想定し、「さざ波」「なぎ」の状態になっても、「新たな変異株」「次の波」は必ず来るものとして、年間の業務計画を進めていく。
「感染は止める 社会経済活動は止めない」を念頭に置きながら、「株」の特性や「波」の状況に合わせて、フレキシブル（柔軟）に事業・事務の実施方法・時期等を見直していく。
- ワクチンや経口治療薬の開発が進んできており、いずれコロナは怖いものではないという生活に戻ることができるが、グローバル化は止められないので、別の怖い感染症が入ってくる可能性がある。その時にいち早く対応できる体制をつくる、健康なまちづくりをする、その準備も始めていく。
管内自治体病院において、認定看護師（感染管理）の育成も検討していく。
- 令和4年度において、18町村全てで、年末年始の休日を「12月29日から1月3日」とする。(H30 幕別町 / R1 池田町 / R3 新得町)

職員・議会・団体・企業・自動車ユーザー・住民等への説明資料

図柄入りご当地ナンバープレート「(仮称)十勝(とかち)」の導入に向けて

- ※ 十勝町村会では、さらなる十勝の認知度 up を図り、地域振興や観光振興に活用するため、国(国土交通省)が募集する「図柄入りご当地ナンバープレート」の導入に向けて取り組んでいきます。
- ※ 国への申込にあたっては、町村それぞれでアンケート等により住民の皆様の意向を確認します。

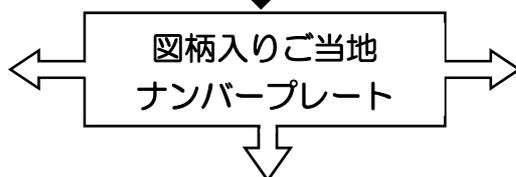
【現行のナンバープレート】

※ 現行は、自動車の本拠の位置を管轄する運輸支局名を表示(北海道運輸局帯広運輸支局)



※ 道内のナンバープレート
札幌・函館・旭川・室蘭・釧路・北見・帯広
+
ご当地ナンバープレート
苫小牧・知床(令和2年交付)

対象	登録自動車(自家用・事業用)
	軽自動車(自家用)



複数市町村) 台数要件	登録車 5万台以上
	〔18町村：11.9万台〕 帯広市： 9万台

- ※ 導入地域で令和7年5月(頃)以降、新規・移転・変更登録する自動車から順次、新ナンバーを交付。(帯広ナンバーは選択できない。)
- ※ ある時点で導入地域内の自動車について、強制的に「帯広ナンバー」を変更するものではない。

【「図柄入りご当地ナンバープレート」の条件】

- ※ 地域名は、行政地域や旧国名等の地理的名称であり、当該地域としてふさわしい名称。
- ※ 原則「漢字」2字。ただし、「漢字」または「平仮名」で、最大「4文字」まで可。(視認性の確保)
- ※ 図柄はその地域の特色を表現し、地域振興・観光振興に資するもの。
- ※ ユーザーは、「図柄入り フルカラー」、「図柄入り モノトーン」、「図柄なし」の3種類から選択できる。
- ※ 登録費用に含まれるナンバープレート交付手数料は、北海道運輸局が決定。苫小牧(知床)ナンバーは「図柄入り フルカラー」8,300円(8,400円)+寄付金(1,000円以上)、「図柄入り モノトーン」8,300円(8,400円)、「図柄なし」1,740円(従来と同じ)。

【(仮称)「十勝(とかち)」ナンバープレートのイメージ】

地域名(案)	図柄入り		図柄なし
	フルカラー	モノトーン	無地(従来と同じナンバープレート)
十勝			
とかち ※平仮名の例 つくば いわき とちぎ なになわ			

注：この熱気球の図柄はあくまでイメージです。図柄の選定は複数案から地域住民に意向を確認します。

「図柄入りご当地ナンバープレート」とは？

現在、全国で133地域名のナンバープレートがあり、そのうち58地域が図柄入りナンバープレートを導入しています。

【平成18（2006）から導入された「ご当地ナンバー」】

ナンバープレートは、配置や文字位置、地域名など法律で厳しく管理されていたが、地域振興や観光振興に活用する観点から、地域の要望に応じて追加的に新たな地域名を定める「ご当地ナンバー」が平成18年（第1弾）及び平成26年（第2弾）に導入され、合わせて29の新ナンバーが交付されました。

〈 H18（2006）19地域 / H26（2014）10地域 〉

【平成30（2018）から導入された「図柄入りナンバープレート」】

図柄入りナンバープレートは、ナンバーが見えづらくなるという理由で禁止されていたが、ナンバープレートのさらなる多角的活用を推進するため、平成30年（第1弾）及び令和2年（第2弾）に合わせて58の新ナンバーが交付されました。

〈 H30（2018）41地域 / R2（2020）17地域 〉

（寄付金の使途等）

寄付金は、1000円以上100円単位で地域が最低金額を設定します。対象地域の地域交通のサービス改善、観光振興などに活用するものとし、対象地域ごとに協議会を設置し、具体的事業の内容の検討と選定を行います。協議会には、対象地域の地方公共団体が中心となり、地方運輸局、交通事業者、観光事業者などが参画します。

なぜ「図柄入りご当地ナンバープレート」を導入しようとするのか？

「十勝産小豆」「十勝産チーズ」「十勝ワイン」「十勝日誌」などなど、名称に「十勝」や「北海道十勝」を冠にした生産物や商品が数多く全国展開されているが、十勝ブランドを全国に売り出す努力はますます必要です。

令和3年にナショナルサイクルルート「トカプチ400」が指定され、令和4年12月には日高山脈襟裳国立公園の国立公園昇格と新たな名称に「十勝」が加わることが見込まれている。十勝の存在感は確実に上がり観光客・交流客の増加が見込まれます。

こうした人や物の動きをさらに加速させていくためには、これまで以上に積極的に「十勝」を発信していかなければなりません。

十勝地域の特色を生かした「新ナンバープレート」は、十勝の走る広告塔として、十勝の存在感を示し、十勝の認知度アップに貢献するものと考えます。

導入しようとする地域の範囲は？

「十勝はひとつ」として19市町村全域での導入を目指します。しかし、帯広市は、将来的に「帯広ナンバー」がなくなることを考えると、市民や団体・企業などとの調整には一定の時間がかかることが推察されます。

このため、18町村は先行して準備を進め、「導入意向表明時」（令和4年11月30日まで）において、帯広市の動向が未定の場合は、まず、18町村で導入を道に要望します。

なお、要望を受けて道が国交省に提出する「導入意向表明時」と「導入申込時」（令和5年3月15日～31日）とで、参加市町村が変更になっても問題はありません。ただし、変更の際に際して関係する全市町村の地域住民等の意向を踏まえる必要があります。

導入申込後の変更は認められません。

導入するために自治体の金銭的負担はあるのか？

国や道への自治体の負担金はありません。ただし、住民アンケートに伴う郵送料などは自治体の負担となります。また、図柄の選定に当たり、自治体共同で行う公募コンテストやデザイナーへ作成依頼をする場合の費用なども自治体の負担となります。

導入の手続きは？（市町村・北海道・国土交通省）

* 導入の申込みにあたっては、偏りがないなどの適切な方法によるアンケート、ヒアリング等によって、「新たな地域名称」は、地域住民の合意形成を図ること、「図柄」は、地域住民及び自動車ユーザーの意向を確認することが条件となっている。

日 程	内 容
令和4年5月13日	十勝町村会 通常総会（18町村での導入に向けて 基本合意）
5月25日 27日	国土交通省主催 「地方版図柄入ご当地ナンバープレートに係る説明会（Web）」
6月3日	十勝副町村長会 臨時総会 （推進体制及び地域住民の合意形成・意向確認の実施時期・方法等の協議を開始）
6月 ） 10月	各自治体による周知などの取組
11月30日まで	※対象地域（自治体）の合意（「議会の議決」までは求められていない） ↓ ※「導入意向」の要望（自治体（代表） → 北海道）
	※「導入意向表明書」の提出（北海道 → 北海道運輸局 → 国土交通省） （新地域名、意向表明理由、市町村の調整状況などを記載）
令和5年3月15日 ～3月31日	※「導入申込書」の提出（北海道 → 北海道運輸局 → 国土交通省） （申込理由、新地域名の選定理由、市町村の同意に至るまでの経緯及び地域住民等の意向状況などを記載）
7月～9月	ご当地ナンバー名称の決定（国土交通省）
11月1日 ～12月28日	※「図柄」の提案（自治体又は北海道 → 国土交通省） （図柄の選定は、複数案から地域住民に導入意向を確認）
令和6年度内	デザインの決定
令和7年5月	新ナンバープレートの交付開始

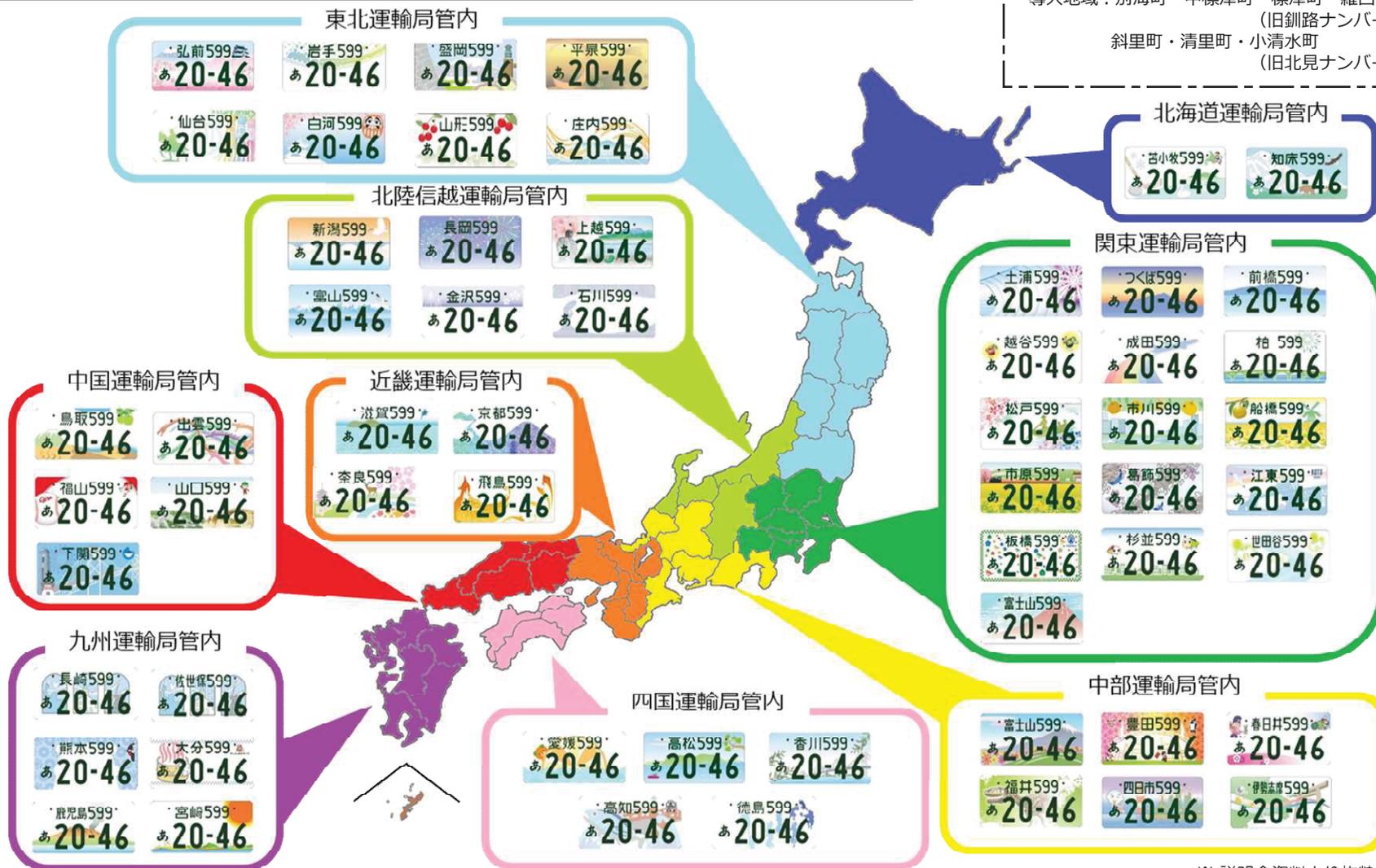
現在の地方版図柄入りナンバープレートの交付地域一覧

導入地域…58/133地域

第1弾：平成30年10月 41地域（仙台・つくば・富士山・豊田等）

第2弾：令和2年5月 17地域（弘前・松戸・江東・四日市・飛鳥等）

※ 第2弾地方版図柄入りナンバープレートについては、ご当地ナンバーと組み合わせて募集。



【苫小牧ナンバー】
導入地域：苫小牧市（旧室蘭ナンバー）

【知床ナンバー】
導入地域：別海町・中標津町・標津町・羅臼町（旧釧路ナンバー）
斜里町・清里町・小清水町（旧北見ナンバー）

※ 説明会資料より抜粋

地域名表示・ご当地ナンバー地域一覧

運輸支局等	表示文字										
北海道	札幌	札幌	関東	佐野	とちぎ	中部	三重	九州	福岡	福岡	
	函館	函館		群馬	群馬		川崎		川崎	北九州	北九州
	旭川	旭川		高崎	相模		相模		鈴鹿	久留米	久留米
	室蘭	室蘭		前橋	湘南		湘南		四日市	筑豊	筑豊
	釧路	釧路		大宮	山梨	山梨	伊勢志摩		佐賀	佐賀	
	帯広	帯広		川口	新潟	新潟	滋賀		長崎	長崎	
	北見	北見		熊谷	春日部	春日部	京都		長崎	長崎	
東北	青森	青森	北陸信越	春日部	越谷	近畿	和泉	沖縄	熊本	熊本	
	八戸	八戸		所沢	所沢		なになわ		なになわ	大分	大分
	岩手	岩手		千葉	千葉		和泉		和泉	宮崎	宮崎
	宮城	宮城		野田	野田		神戸路		神戸路	鹿児島	鹿児島
	秋田	秋田		習志野	習志野	奈良	奈良		奄美	奄美	
	山形	山形		袖ヶ浦	袖ヶ浦	飛鳥	飛鳥		沖縄	沖縄	
	庄内	庄内		東京	品川	和歌山	和歌山		宮古島	宮古島	
	福島	福島		足立	足立	鳥取	鳥取		八重山	八重山	
	いわき	いわき		練馬	練馬	島根	島根		●ご当地ナンバー 橙塗はご当地ナンバー第1弾 (平成18~20年:19種類) 青塗はご当地ナンバー第2弾 (平成26年:10種類) 黄塗はご当地ナンバー第3弾 (令和2年:17種類)		
	茨城	水戸		練馬	練馬	岡山	岡山				
土浦	つくば	多摩	多摩	広島	広島						
関東	栃木	宇都宮	中部	八王子	八王子	中国	福山	四国	山口	山口	
		那須					沼津		伊豆	徳島	徳島
							愛知		名古屋	香川	香川
						豊橋	豊橋	愛媛	愛媛		
						西三河	岡崎	高知	高知		
						小牧	尾張小牧				
						小牧	一宮				
							春日井				

※ 説明会資料より抜粋

北海道内の図柄入りナンバープレート

(2地域：令和2年5月交付)

苫小牧ナンバー 導入地域：苫小牧市（旧 室蘭ナンバー）



知床ナンバー 導入地域：別海町・中標津町・標津町・羅臼町
(旧 釧路ナンバー)
斜里町・清里町・小清水町
(旧 北見ナンバー)

